

令和6年度学校評価 生徒用 集計結果

令和6年12月
習志野市立第六中学校

教育活動全般についての質問	肯定率		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 六中は、学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	94%	93%	96%
(2) 六中の学校行事（体育祭・修学旅行など宿泊行事・合唱コンクール等）は、充実している。	90%	94%	96%
(3) 六中は、歌声が響く学校である。	90%	92%	95%
(4) 六中の生徒は、時と場合に応じたあいさつと言葉遣いができる。	87%	87%	85%
(5) 六中は、清掃が行き届いている学校である。	86%	87%	90%
(6) 六中は校舎内外の施設・設備や事故防止に向けた安全な環境づくりに努めている。	82%	81%	81%
(7) 六中の教職員は、いじめや不登校に対して、親身になって対応している。	89%	92%	95%
(8) 六中の教職員は、生徒の悩みや相談に対して、親身になって対応している。	92%	92%	95%
(9) 六中は、毎学期の学習内容や評価の観点について、わかりやすく伝えている。	91%	93%	95%
(10) 六中の先生の授業はわかりやすい。	89%	91%	92%
(11) 六中の先生は将来の進路や職業について、わかりやすく伝えている。	90%	90%	93%
(12) 六中の学校生活や生徒の様子は学校だよりやホームページ等で知ることができる。	82%	82%	83%
(13) 六中の教育活動におおむね満足している。	91%	90%	93%
自分の事についての質問			
(14) 思いやりや命の大切さについて理解している。	97%	98%	98%
(15) 授業に集中して受けている。	92%	92%	91%
(16) 定期テストの前は、計画的に学習している。	76%	79%	76%
(17) 家庭での学習の習慣が身についている。（塾・習い事などを除く） 【毎日1時間以上・・・そう思う 1時間未満30分未満・・・ややそう思う 30分未満・・・あまりそう思わない】	84%	76%	66%
(18) 食事や睡眠など、自分の健康管理に気を付けている。	83%	86%	83%
(19) 歯磨きの習慣や歯に対しての治療には気を付けている。	94%	96%	95%
(20) 家庭では、携帯電話、スマートフォン、メール、SNS関係、ゲーム等の時間を決めるなどのルールがある。	69%	69%	72%
その他についての質問			
(21) 機能性、多様性、価格等、社会情勢の変化に応じた制服の変更を検討することについて。			95%

※肯定率については、「そう思う」、「だいたいそう思う」の全体に対する比率となります。なお、「判断できない」、「無回答」については、全体から除いています。

【まとめ】

◎「教育活動全般についての質問」について

<評価点>

例年に比べ肯定率が上がっており、授業を基本とした学校生活、学校行事などに意欲的に取り組み、生徒の個々の成長や自己肯定感の向上がうかがえる結果となりました。

- ・ (7) (8) (13) の肯定率が各3%向上していることから、生徒が気兼ねなく悩みや相談ができる学校の雰囲気ができてきていると感じます。

<課題点>

- ・ (4) の肯定率が2%下がっており、日常生活の中で自然とあいさつが飛び交うように教師が範を示すと共に、あいさつがしやすい雰囲気づくりを心掛けていきます。

学校目標に掲げている「活力あふれる生徒の育成」の実現に向けて引き続き、生徒一人一人の思いに寄り添い、支援・指導していきます。

◎「自分の事についての質問」について

<評価点>

- ・(20)については、肯定率が3%向上し、携帯電話、スマートフォン、メール、SNS関係、ゲーム等の使用における学習への影響、生活習慣への影響、ネット等へのトラブルへの影響などについての講話等の機会をつくったことで、生徒自身が正しい使い方への理解を示してきている結果であると共に、利用時間や利用の仕方のルール決めなど御家庭の御協力いただいた成果と考えます。引き続きSNSの正しい利用について学校として生徒自身が理解を深められるように指導していきます。また、一層御家庭との連携を深め、引き続き適切な使用の仕方及びルール決めることで家庭学習の時間の確保し、規則正しい生活習慣が身につくよう御協力をお願いします。
- ・(21)の制服の変更の検討については多くの生徒が望んでいる結果となりました。制服の変更を望まない生徒の意見も取り入れながら、様々な視点で検討していきます。

<課題点>

昨年度に比べ全体として肯定率が下がっていました。

- ・学力向上に大きく関連している、(16)(17)(20)の3項目の肯定感の向上が必須だと感じています。普段の生活で塾や部活動などのため、自分自身の学習時間の確保が難しい状況であったり、テスト前の詰め込み型の学習になっていたりといった原因が考えられます。学力向上を図っていくためには学習内容の定着及び考え方の視野を広げることが必要で、日常的な家庭学習が欠かせません。短い時間からでもよいので学習習慣の定着化、見通しを持った学習計画を図るようにはまずは実践してみることが大切であると考えます。

今回の評価を踏まえ、今後の学校運営に活かし、生徒の個々の良さを引き出せる指導・支援により、「六中でよかった」と思える学校作りを目指していきます。